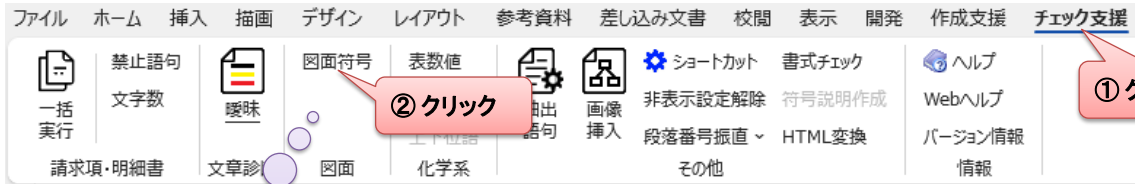


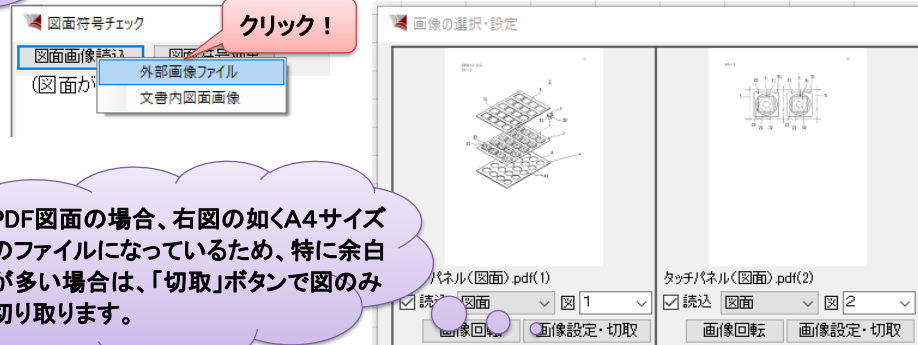
画像図面の符号(+名称)チェック

1. チェック開始は「図面符号」をクリックします。→ (ページには、【書類名】明細書の表記が必要)



Wordファイル内に図面が無くとも、外部より読み込みチェックできます。

(注) 画像図面がWord内に無い場合、メニューの「図面画像読み込み」→「外部画像ファイル」をクリックします。
(注) PDF図面も読み込み可能であり、その場合は Ghostscript (日本語PDF対応版) のインストールが必要です。



PDF図面の場合、右図の如くA4サイズのファイルになっているため、特に余白が多い場合は、「切取」ボタンで図のみ切り取ります。

2. 図面上の符号をOCR抽出し、本文内の符号名称と照合します。

図面符号チェック

図面画像読み込み 図面符号抽出

【図 1】

図面符号抽出

確認!

本文中の符号名称の抽出

☒ アルファベットで始まる符号を認識する

☐ 名称にひらがなを含めて抽出する

☐ 名称の最大文字数を指定する 20 文字

☐ 抽出するひらがなの最大文字数を指定する 3 文字

☐ ひらがなの出現回数上限を指定する 2 回

注) 例えば、本文中に「第一の取り出し口30」というテキストがあった場合、この項目を指定すると、符号の説明は以下のように抽出されます。

1回...「30 取り出し口」

2回...「30 取り出し口」

3回...「30 第一の取り出し口」

抽出言語の設定

OK キャンセル

本文-図面 符号照合結果

符号	名称
1	タッチパネル用入力補助装置
2	キートップシート
3	スピンドル
4	下部カバーシート
5	上部カバーシート
10	第1のタッチパネル
20	第2のタッチパネル
21	キートップ
22	開口部
23	対応する名称を抽出できません

※ 図面より抽出できなかった符号はグレーで表示されます。

図面表示 本文中符号名称再抽出

図面上の符号名称をクリックすると、本文内をハイライトします。

④ 本文にあって、図面上にない符号をグレーにてハイライトするので、上記符号上で右クリックし、本文を確認後、図面内をチェックします。

3. 全符号をハイライト表示させ、OCR誤検出等を確認します。

全符号をハイライト表示させた後、ハイライト無し符号を左クリックでドラッグし、手動で入力します。
(注) 符号ハイライト無し原因
① OCR抽出ミス
② 本文中に符号が無い
(右照合結果に表示)

図面符号チェック

図面画像ファイルの追加
図面上の符号自動抽出(A) ▶
本文中の符号名称再抽出(T)
図面上の符号の選択(S)
全符号のハイライト表示(H)
符号ハイライトの解除
図面上のハイライト削除
符号ラベルの整列(R) ▶
符号ラベルの文字サイズ変更(F) ▶
図面画像の余白の設定(G) ▶
図面の回転(R) ▶
図面の印刷(P) ▶
この図面イメージの保存 ▶
すべての図面イメージの保存 ▶

本文-図面 符号照合結果

符号	名称
1	タッチパネル用入力補助装置
2	キートップシート
3	スピンドル
4	下部カバーシート
5	上部カバーシート
10	第1のタッチパネル
20	第2のタッチパネル
21	キートップ
22	開口部
23	(対応する名称を検出できません)
31	キーボード部
32	キーボード部
33	下端部
41	ホール部
101	タッチパネル
200	指
PC	タブレット

※ 図面より検出できなかった符号はグレーで表示されます。
図面表示 本文中符号名称再抽出

OCR抽出の結果、上記のようにノイズ抽出された場合は、ハイライト削除のボタンで、上記赤枠点線のように左クリックでドラッグして削除します。

図面符号チェック

図面画像ファイルの追加
図面上の符号自動抽出(A) ▶
本文中の符号名称再抽出(T)
図面上の符号の選択(S)
全符号のハイライト表示(H)
符号ハイライトの解除
図面上のハイライト削除
符号ラベルの整列(R) ▶
符号ラベルの文字サイズ変更(F) ▶
図面画像の余白の設定(G) ▶
図面の回転(R) ▶
図面の印刷(P) ▶
この図面イメージの保存 ▶
すべての図面イメージの保存 ▶